



日本共産党区議会議員
**こんにちは
 伊藤和彦です**

自宅・足立区花畑6-7-23
 足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

区民のくらしを守るよりも、区財政を優先し ため込み金は過去最高の852億円に

日本共産党の反対討論

日本共産党の修正案に一言の 質疑なく否決した自民、公明、民主

二〇〇八年度予算特別委員会では日本共産党が行った討論の全文を紹介いたします。なお、自民、公明、民主は区長提案の予算案にすべて賛成。日本共産党の修正案には質疑なしで反対しました。

私は、日本共産党区議団を代表し、第5号(一般会計)、第6号(国保特別会計)、第8号(後期高齢者医療特別会計)議案に反対、第7号(介護保険特別会計)、第9号(老健特別会計)、第54号議案(同時補正)、および予算修正案に賛成の態度を表明し、討論を行います。

近藤区長の初の予算編成である本予算案には、近藤区長の政治姿勢があらわれています。「区民生活の応援を優先にする」「税の所得再配分機能や社会保障の意義についても十分認識しており、個別に判断していく」といい、一部に区民要望にこたえるものはあるものの、実際に



は、区財政確保が優先され、基金残高は過去最高の852億円に到達しました。わが党は、基金全般を否定するものではありませんが、質疑で明かになったように、一括償還学をはるかに超える減債基金を積むなど、区民生活の実態から見ても、そのため込み方は異常です。一方、重度障害者の巡回入浴サービスなどわずか140万円のできる施策も「バランス」を理由に有料にするなど区民の負担を増やし、住民税の負担を実態に合わせ軽減することに背を向けるなど、区民生活を支える視点がよわい予算といえます。原油・原材料高騰の影響への対策は、低所得者や障害者施設への対応も、事業者への融資改善の対応も行わない冷たい姿勢でした。

「子ども」「環境」が重点と言いつつ、**保育園料は値上げ、プラスチックは燃やす、逆行していませんか**

区長は、「子ども」「環境」「治安」を新年度予算の三つの柱として打ち出しました。しかし、「子ども」分野では、6%を活用し、ムダを省けば、

保育料の値上げ(本則実施)を行い、子ども医療費の入院給食費助成では、すでに12区で実施され、六〇〇万円のできるのに検討もしようとしていません。「環境」では、「日本で一番地球にやさしいひとのまち」をめざすといいつつ、プラスチック容器までリサイクルせずに四月から全域で燃やしてしまうことを強行し、その理由も全く道理がないことが、明らかにになりました。

また、新年度は、自民・公明政権の医療改革関連で、国保会計も数十年に一度の変更がおこなわれ、均等割りで一八〇〇円の値上げが提案されています。新たに後期高齢者医療特別会計も設けられました。両会計予算に共通しているのは、低所得者ほど、保険料の負担が減る、所得再配分機能を弱め、格差を拡大させる保険料負担になります。後期高齢者を現役世代か



原油高騰など新たな負担増や制度改悪の影響の軽減、高齢者を支える施策、区内産業支援策、地球環境を守り安心安全の区をめざすなど、38の新規・拡充事業を行うことができ、区民の願いに答え、生活支援を充実できるものです。ぜひこういった立場に立たれるよう、強く望むものです。

なお、道路特定財源の暫定税率を廃止したとしても、道路整備に税金が使えないわけではなく、大切なのは、第二東京湾道路など高速道路建設よりも、人命が奪われた踏切事故を二度と起こさないためにも、開かずの踏切対策など住民の命と安全にかかわる緊急対策を優先することです。わが党は、竹ノ塚付近鉄道立体化事業が一口も早く実現できるよう、今後も超党派で力をつくす決意です。

ご意見、ご要望をお寄せください

区は「花畑団地に住み続けたい」の声にこたえてUR(都市再生機構)に働きかけよ



ら切り離し、新たな負担増を強い、給付内容も高齢者を差別する制度改悪は、認められるものではないと答えています。

区長は、自治体の長として、格差を縮小し、区民の負担を軽減する立場にたたれるよう、求めて、討論を終わります。

予算委員会で花畑団地を取り上げた伊藤和彦議員の質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

止したため、ゴーストタウン化が進み2700戸中、約1千戸が空家のままとなっている。「団地再生(複合型)」では、従来の建て替えでは戻り入居に対する家賃の減額措置(低所得者、高齢者に50%減額措置など)があつたが無くなる。花畑団地の再生、活用、周辺地域も含めたまちづくりを進める協議が進んでいると聞くが、家賃について具体的な協議がされているのか

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

あると聞いているかどうか。
●答弁―住戸数は確保すると聞いている。家賃も据え置いて、ほとんど10年間は今の家賃で入居できると聞いている。

○質問―耐震改修が必要となった5号棟の問題もある。5号棟は構造耐震指標で「分類2住宅階の耐震改修を速やかに行う必要がある建物」であるが、URは、1号棟から2号棟までの耐震改修は「団地再生」計画の中で行うという。入居以来40年余なら点検がないまま老朽化がすすみ、先日1号棟でトイレのタンクが落下するなど、居住者からは修繕を第一にして欲しいと強い要望も出されている。安全性を担保するために区からURに働きかけるべきだがどうか

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中



○質問―区かけて頂きたいがどうか。
●答弁―URの再生方針では、賃貸住宅の利便施設などを考慮する方針に建て替え建替えてきている。自治会でもURに意見を上げている。協議会の場合には、の場を通じてやっていきたい。
○質問―次に、区営住宅の承継機構法第十
○質問―次に、区営住宅の承継機構法第十
○質問―次に、区営住宅の承継機構法第十

区営住宅の承継条件を緩和すべき

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中

○質問―UR(独立行政法人・都市再生機構)花畑団地の整備計画について聞く。花畑団地の整備計画が、「団地再生(複合型)」となったと聞いている。花畑団地は、建て替え対象団地といわれ、9年前から募集を中